

# 言葉のシャワー

～令和2年2月実施の生涯学習部職員ヒアリングシートで届いたヒント集～



# あなたが考える未来の生涯学習の理想像

・多様な主体 ・ネットワークを組む ・創造性あふれる事業・Society5.0の時代だからこそ ・人と人のつながり ・「誰一人取り残さないSDGs」 ・居心地の良い施設環境 ・学習することが役に立ったと思える環境 ・高齢社会対策、スクールコミュニティの切り札 ・バーチャルな世界に没入でき、誰とでも学べる環境 ・老若男女を問わず当事者意識を持って「自然に」地域のため、課題解決のために集う環境 ・目的をベースにつながれる環境 ・年齢、場所、性別に関係なく学習環境が整っている ・どこでも、いつでも、何度でも学び直せる ・老若男女、貧富の差を問わずに学びたい人がいつでも学べる環境 ・学びたいときに学びたいことを何度でも学べる環境や機会があること ・何かを学んでみたいと思ったとき、学べる場所や仲間を身近に見つけやすい環境 ・市民ニーズを把握すること ・「学ぶこと」＝「楽しいこと」と認識されること ・様々な選択肢を苦労なく探せること ・学びを通じて、地域のつながりを深めていけるような環境 ・意識しないで学べる環境が理想 ・誰もが主体的に様々なつながりで学びあう ・フラットなつながりで人が変わる ・学べる環境（ハード面、ソフト面）が整っていて、選択することができる環境 ・情報が得やすい ・参加することへのハードルが低い ・受け身の姿勢ではなく自ら考え答えを導き出す環境を整える ・「誰でもどこでも何でも」すぐつながることができる環境 ・人生100年時代を迎える中、高齢者の社会貢献活動が行われる環境 ・長寿社会に対応した学びの環境 ・時代のニーズにあった施策 ・差別や偏見のない地域社会の構築 ・人権教育推進室が必要なくなる社会

・市民の郷土意識を高めていく存在　・自身の知的好奇心を満たしながら、地域の役に立つような活動ができる　・誰もが楽しめる憩いの空間　・若い世代の親と子どもが楽しめる施設　・将来を考えるきっかけづくり　・学校教育をサポートする存在　・常にアップデートされている　・ふと学びたいという意欲がわいたとき、気軽に足を運べる　・何度も行きたくなる　・常に新しい展示がある　・企画展が魅力的　・大人も子どもも楽しめる　・学びたいときに学びたいことを提供する場が整っている　・どの世代でも情報共有できる　・市民のコミュニティの中核となる　・市民の活躍の場を提供する　・生活を豊かにする場　・最先端の情報を提供する場　・子どもたちの専門的な知識や興味関心を高める場　・あらゆる世代が同じコンテンツを一緒に楽しめる　・知らない世界を知る場所　・気軽に行え、常に新しい発見がある　・死ぬまで生き生きと学べる　・生涯学習を通じて皆が郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献していける社会　・毎日でも来たいと思わせる魅力あるアイテムがある　・地域文化の継承、創造、地域づくりや地域課題の解決に資するための拠点　・世代間交流による地域活性化の促進に結びつく　・高齢者や子ども、障害のある方でも気軽に立ち寄れて解放感のある施設　・人生100年時代を見据え、生涯学び続けることが需要として肥大しており、必要なものを提供しつづけることが大事　・年齢層を問わず学べる地域の学習センター　・生涯にわたって学び続ける姿勢や郷土に誇りを持つことで地域を活性化する　・ここが故郷でよかったと感じられる　・様々な人が館を訪れ、館を利用し、逆に館へ情報が還元されるような仕組み　・後世にさいたま市の歴史と文化を残す　・市民のシビックプライドに寄与できるような存在　・専門性のある研究者、歴史家、郷土史家　・全ての人々が楽しく利用でき、色々な意味で社会の核となるもの　・地域にある資源を活用し、様々な人に、様々な場所を提供する存在　・郷土理解の向上に役立ち、知的満足度を高めている

・地域の将来ビジョンを構築し、その発展につながる人材を育てる ・来館者が理解し、考え、納得したり感動したりする展示や解説を大事にする ・立地環境、地域性が生かされる学習 ・地域の歴史にこだわりを持っている ・企画展や講座を通して地域の交流が活性化する ・魅力的な講座やイベントを企画実施し、市民の学ぶ権利を保障し続ける ・先見性を持ち、時代の変化に対応したビジョンを施策に反映させている ・市民の憩いの場 ・充実したミュージアムグッズを販売している ・時代や社会のニーズに効果的に対応できる施設、設備を備えた運営 ・学びと交流の基地的存在 ・学びのシンクタンク ・コンビニのようにいつも身近な存在で気軽に行ける場所 ・落ち着ける場所（カフェ併設） ・ミュージアムショップ ・年に1度は必ず行きたい企画展があるといわれる ・感性を豊かにする場 ・赤ちゃんから高齢者まで、誰もが快適に利用できる場所 ・地域全体で子どもを育て見守るようなコミュニティの場 ・市民が集中して目標に取り組める場所の提供 ・市民が情報や知識を容易に得られるようサポートできる場 ・すべての市民の憩いの場 ・誰もが学ぶ機会を得られる場所 市民が人生100年時代を豊かに生きるための生涯学習 ・様々な情報が融合したハイブリットな知的な空間 ・ちょっとしたスキマ時間や気分転換したくなったときに訪れるような、日常に自然と溶け込んでいる場所 ・地域にとって憩いの場 ・中高生のサードプレイスとなれる図書館 ・気軽に集える場所 ・いつでもどこでも知りたいものが手に入る場としての図書館 ・便利に使いたい存在 ・生きる力を支える場 ・わくわくするような出会いがある場所 ・十人十色 ・誰でも気軽に利用できて、一日中いても飽きない施設 ・一日過ごせるエンターテイメント施設 ・老若男女が気軽に利用できる ・暮らしに寄り添った、なくてはならない存在 ・個人の学習意欲を身近な場所で日常的に支えている場 ・「人と知識」「人と人」「人と地域」をつなぐ図書館

・人と人が関わり新しいつながりが生まれる場所 ・自分の知りたいことを知ることができる場所 ・ランドマーク ・わずらわしくなく滞在できる空間 ・ライフラインとして機能する場所 ・情報拠点 ・地域の住民たちの交流の場 ・人の自立を助け、人を育て、文化をはぐくむ場 ・人と知識・情報を結び付け、生涯にわたる学びを支援できる場 ・市政の情報を得やすい場所 ・地域の情報を共有、発信できる場 ・高齢者福祉へのゲートウェイ ・時代をアーカイブし地域住民に提供する場 ・幅広い世代の知の泉 ・あらゆる世代が学習に限らず、余暇としても満足できる場所 ・窓口での出会い ・幅広い年代のニーズに応えながら、子育て支援、ビジネス支援や生涯学習を促進する施設 ・高度にネットワーク化、マルチメディア化された世界に対応した多様な情報を提供する場 ・情報基地 ・誰もが安心して使える施設 ・多世代で交流できる場所 ・社会の変化に合わせたサービスを提供できる場所 ・人の自立を助け、人を育て、文化をはぐくむ場 ・賑わいと静粛性が両立できる地域の知の拠点 ・リラックス、リフレッシュができる場所 ・全世代の文化的な活動を知識の面から支え、各世代を繋げる場 ・地域の様々な歴史を語り継ぐ拠点 など

# 今の生涯学習施策に必要なと思うこと

・行政でしかできない生涯学習施策をPRすること ・生涯学習の状況把握 ・市長部局との連携 ・各団体の取組のネットワーク化 ・「なにこれ？」と興味を引く施策 ・各団体のコーディネート機能、ファシリティー機能 ・効果的な広報 ・連携や横のつながり ・社会教育主事、学芸員、司書等の役割の明確化 ・子育て世代に対する施策 ・地域課題を解決する施策 ・若い世代へのアピール ・働いている人が参加できる講座 ・平日に時間が取れない人への学ぶ環境 ・若年層向けの講座 ・横のつながりを持った事業展開 ・行政関係者以外との意見交換や協働 ・生涯学習施策を実施する目的の明確化 ・職員の意識付け ・アンケート結果等の分析を業務改善につなげる仕組み ・ボランティアの高齢化を抑制する ・各施設の駐車場 ・団体や個人のネットワーク化 ・利用者の声 ・さいたま市の生涯学習とは何かを具体的に示すこと ・市民の声を生かしていくこと ・高齢者だけでなく、子どもや主婦も参加できる活動 ・積極的な広報活動 ・児童生徒が参加できる事業の実施 ・ウォーキングイベントなど健康づくりと関連付けた取組 ・財源も減っている今日、現状維持でもいいと思う ・発信した情報をその場限りではなく、伝える、広げていく（放射状に）仕組みの構築 ・社会教育主事の人数 ・若い世代の参加意識 ・人と人、人と地域が「つながる」面 ・リピーターを生む取組 ・若い方の参加意欲 ・ネーミングライツの利用による広報 ・人材の確保 ・駐車スペース ・利用時間の拡大 ・誰でも使いやすい施設としての雰囲気づくり ・興味関心を高めるスケールの大きい映像 ・新たなボランティアの獲得 ・長期的な視座

・情報収集の場が周知されていない（分かりにくい） ・「活かせる」「つながる」までは発展できていない ・適切な知識を持つ学芸員の配置が不足している ・さいたま市ならでのコンテンツ、特色あるコンテンツ ・学芸員のスキル ・専門職としての学芸員の新規採用がないこと ・リピーターを増加させる ・「いいものはいい。よければみんなが欲しい」という考えを持つこと ・学芸員個人のスキルとそれを向上させるための体制作り ・まちづくり部署と連携することによって、「待ち」の姿勢ではなく積極的に市民の間に出ていくべき ・地元大学と連携した研究会の組織運営 ・学芸員が継続的に学習し、専門性を高めていくような体制 ・中間層の人のニーズにあった展示や講座 ・事業がマンネリ化している ・ICTやAV的な展示 ・展示や講座のためのスペース ・様々なメディアを通じた情報発信 ・来観者の知的欲求に効果的に応えていくためのICT機器の整備 ・ゲーム等とのコラボレーション ・経験、伝承、ビジョン ・多種多様な分野で市民の学習意欲がわくような事業の提供 ・職員数 ・質の高さ ・新しい価値 ・刺激 ・非日常空間、芸術的な感覚を味わう場 ・広報が弱く市民への周知が弱い ・「仕事に役立つ図書館」が図書館の生き残る道 ・若者を将来のユーザーとして考える ・外国語力 ・職員の専門性 ・高齢化社会であるがゆえに、もっと若者を育てる活動 ・身近な場所で、はじめの一步のきっかけ作りをすること ・マーケティング能力 ・目先のことや日々の雑務に追われて中長期的な視点を持っていない ・学ぶことの喜び、楽しさを体感してもらう取組 ・一人ひとりが成長を実感できるような仕組みづくり ・活動や会場を確保しやすくする取組 ・費用やきっかけをサポートする取組 ・チャレンジ精神 ・SNSの活用による若年層の取り込み ・青色パトロールなど公用車を利用した広報 ・人生100年時代、働き方改革、シンギュラリティへの適切な理解を進める ・新しいアイデアを自由に出すための環境 ・教育における格差是正

・公共のセンス、民間のセンス、デザインセンスをバランスよく持つこと ・どのような状況が「生涯学習に取り組んでいる」状況なのか、生涯学習の定義と評価指標を端的に示し、意識調査を行うこと など



# 生涯学習が暮らしの質を上げるための可能性

・市民ニーズを把握して、生涯学習の重要性を発信する ・市民の心を豊かにする ・文学活動、子育て講座等は暮らしの向上に役立つ ・生涯学習推進そのものが暮らしの質を向上させる ・各事業それぞれが暮らしの質向上につながっている ・チャレンジスクールは地域住民のやりがい向上につながっている ・各施設の指針を示して、それにより各個人の能力向上を図る ・生涯学習は暮らしの質を上げるうえで欠かせないもの ・「学ぶ喜び」「活かせる場を持つ喜び」は人生を豊かにする ・「人材バンク」は人的ネットワークを広げ、暮らしの質を上げる可能性がある ・学校と地域の連携を進めることで、地域に愛着を持ち、住んで良かったと思える住民を増やすことができる ・「未来くるワーク」で民間事業と連携し、企業と地域がつながることは、地域防災や防犯にもつながる ・個人の豊かな人生に向けた生涯学習の推進 ・仕事に活かせる学習、いわゆるリカレント教育の推進 ・幅広い活動に参画することで、個人の見識を深め、生きがいのある人生を歩むことができる ・住んだり働いたりしているこの地域の成り立ちを知ることは郷土愛につながる ・使いやすい図書館システムが優れている ・自分が住んでいるところにあるものを知ると愛着が沸く ・文化財は地域を大切にしたい気持ちが芽生える ・さいたま市には自然豊かな環境、農業と歴史的文化的文化要素が融合したものがある ・地域密着 ・学んだことをこれからの社会に活かしていけるような人材が育つ ・生涯学習を通じて住民にシビックプライドが醸成される ・まちのブランド化が図れる

・地域の人たちが自分たちの住む土地の歴史や風土を深く知り、愛着を持って暮らすまちができれば理想的

- ・文化的アイデンティティを醸成する場
- ・生粋の市民による郷土愛を新しく市民になった方へ広める出会いの場
- ・学習支援を強化して将来の顧客ができる
- ・地域住民としてのアイデンティティの確立を支える
- ・地域の先人の営み＝歴史を学び、地域への愛着を深め「わがまち」という郷土愛をはぐくむ
- ・地域の歴史、文化、先人の生き方を学ぶことによりはぐくまれた郷土愛を軸に、そこに住む市民相互の絆が深まる
- ・さいたま市STEAMS教育の推進により若い世代に美術に関する関心が深まり、地域の文化力の向上につながる
- ・一人で悩み考える人の助けになる
- ・図書館は地域の知の拠点であり、知識の集積所
- ・それぞれの欲求を満たす存在としての図書館
- ・あらゆる情報が集約されている自治体のシンクタンクとしての図書館
- ・社会を構成する個人ひとりひとりにとっての知識の宝庫である図書館
- ・目まぐるしい社会の中であって、緩やかに時間が流れる存在
- ・赤ちゃんからシニア世代までの様々な知的欲求を満たすデータベースの集積場としての図書館
- ・学習意欲を促進させ、知的欲求を満たす場
- ・全世代にとって学習意欲が満たせる場
- ・イベントに参加することでQOLが大きくなる
- ・図書館は「知」の宝庫 読書は「心の栄養」 たくさんの人に魅力を伝えたい
- ・人生を豊かにするための存在
- ・アイデアを創出するきっかけになる図書館
- ・本で得た知識によって暮らしの質が上がる
- ・生活をより豊かにする存在としての図書館
- ・社会において静かに集中できる空間
- ・情報を得るだけではなく、自ら発信したり、仲間づくりをして、人と人とのつながりを深める場所
- ・学習、仕事、余暇、介護など、ライフステージのどの段階においても親身に寄り添ってくれる場所
- ・個人の人生を豊かにする一翼を担う存在
- ・誰もが人生を豊かにすることができる場所
- ・様々なことに繋がれる可能性のある場

・古今東西、森羅万象のありとあらゆる情報が集まる場である図書館 ・人類にとって第2の脳、人間にとっての外部出力装置である図書館 ・他者と共有する書齋としての図書館 ・地域振興の中核となる場 ・様々な情報、知識を与えることで社会が発展する ・知る自由を保障してくれる存在としての図書館 ・「こんな暮らしをしたい」という個人の希望にこたえられる資料や講座がある ・「うちの本棚」である図書館 ・余暇も含めたlife（生、生活）をサポートする場 ・知的好奇心を満たしたり、楽しむことができる場 ・知識は人の力であり、楽しみであり、生活に役立つものである ・生き方や仕事のヒントを得る有益な場所 ・退職後に孤立しない社会生活の送り方 ・資料を駆使して住民の課題解決をお手伝いできる場 ・図書館の利用を通じて、成長した住民がよりいい社会を作り出していく ・必要に応じた情報を手に入れられたり、興味関心を拡大できる場 ・寿命が延びて生活するためには学習が不可欠 ・個人と社会の幸福のための知のセーフティネット ・地域住民のQOLの上昇が使命 ・文化や教養に触れることで生活の質の向上につながる など

# 市民の生涯学習に対する意識を高めるために今できること

・あらゆるネットワークを活用する  
・他都市の好事例をマネる  
・「空気」のような存在である生涯学習を売り込む  
・「生涯学習とは何か」を知ってもらうこと  
・地域コミュニティの活性化  
・人と人とのつながりを作るような取組  
・「自然と」関わりたくなる仕掛けづくり  
・それが生涯学習だと気づいてもらう  
・身近な場所で行われていることをPRする  
・インターネットを活用したサービス  
・競争  
・様々な取組や施設を紹介する  
・テレビCM等の宣伝  
・それが「生涯学習」だと気付いてもらうきっかけづくり  
・学校を卒業しても「学ぶこと」は日常を生活している中で誰もがやっていることを気付いてもらう  
・人の意識を変えるためには熱量の高い人が必要  
・職員の意識向上  
・地域の人材の発掘、育成  
・若者に人気のある企業と連携した取組  
・民間のノウハウを取り入れる  
・市民の興味関心の高い魅力ある事業を企画する  
・さいたま市民として他に誇れるもの  
・政令指定都市として魅力的なもの  
・時間や場所に関わらず気軽に参加できる機会  
・生涯学習は施設に赴いて学ぶだけではなく、「いつでもどこでもひとりで」できるということを広める  
・働き方改革など余暇に時間が使えるようになること  
・高齢社会のコミュニティを維持するための世代を超えた交流  
・時間的、経済的余裕  
・最初は行政からの働きかけが必要  
・広報、市民理解、自発的な活動の順に変わっていくこと  
・家でやった成果がオンライン上で競えるなどゲーム性を取り入れた取組  
・対面以外（オンラインなど）のコミュニケーションを取り入れる  
・地道に広報活動を行っていく  
・市民が何を求めているのか把握する  
・インターネットによる情報発信  
・生活が潤う企画  
・イベントの開催

・もっともっと市民にPRしていく ・魅力あるプログラムの工夫 ・コミュニティ・スクールの充実 ・SNSなど様々な媒体を活用した告知 ・やりたいときにやりたいことを安価にできる環境づくり ・市民の興味を喚起することができる様々な講座 ・高齢者同士が仲間づくりや交流ができる場、機会の提供 ・既存施設の有効活用 ・広報誌やSNS等を活用した情報提供の充実 ・子どもや青少年の自主的なサークル活動等の支援 ・親子講座の充実 ・SNS等広報媒体の多様化 ・新たな発見や体験ができると感じさせる展示 ・分かりやすい解説 ・ボランティアの方のやりがい充実 ・学校教育と連携した異世代交流の場の提供 ・GPS機能を利用した各種スマホアプリのスポットとして積極的に登録してもらおう ・親子で参加できるイベントを開催して生涯学習に対する意識を幼少期よりはぐくんでいく ・学校教育との連携（学習内容とのマッチング） ・より積極的なアウトリーチ活動 ・生涯学習をして終わりではなく、生涯学習で得た知識や経験を次の何か（仕事・ボランティア活動・教育事業等）に生かす仕組みを作る ・展示では、実物、写真、図、動画など効果的に多用し、キャプションも平易で分かりやすいものにする ・市民に生涯学習の成果を発表する場を多く設定して学習の楽しさを伝え、広げてもらう ・市民サイドから生涯学習の推進に向けた生の声を聴くこと ・真に市民が求めている内容を行政がしっかりと把握し、それを的確に反映したメニューを用意する ・学びや運動などを自主的に行う楽しさや重要性を子どもの頃から教える取組 ・「来てよかった、また来たい」と思われるよう接遇やキャプションを見直す ・魅力のある体験型の企画 ・個々の学芸員の専門性を生かして発信していける環境をつくる ・流行に流されず、歴史を踏まえた未来の選択ができるように啓蒙していきたい ・面白さの伝道 ・実効性とリアリティ ・地域社会に働きかけ、他の機関等と対話、連携して社会への還元を図る事業の実施 ・若い人向けのイベント開催 ・Twitterの広告 ・さいたま市独自の独創的な施策を打ち出す ・生涯学習に取り組むことの効果を打ち出す ・地道に告知する

・市民の発展的な活動 ・市民が活動しやすい環境 ・生涯学習の効果、メリットを理解してもらおう ・まずは参加してもらおうこと ・企画に加わる若者を増やすこと ・若者と年配の方が関われるような講座 ・未来をつくっていく若年者への集中投資 ・市民の生活に寄与するビジョンを持つこと ・小学生、中学生時代に生涯学習施設に触れる機会を作ること、増やすこと ・スクラップアンドビルドを忘れず、新規事業を立ち上げたときは何かをスクラップすること ・情報を得る、学ぶことによるメリットを強調する ・広報誌やICTを活用してPRしていくこと ・学習に年齢は関係ないという意識付け ・それが生涯学習なのだよと気付かせること ・世代交流イベントを行う ・生涯学習ポイント制度で楽しく学びを進めるモチベーションを高める ・楽しいイベントを開催する ・成果を上げた団体へのインセンティブづくり ・ニーズに応える環境整備 ・生涯学習をしていると意識付けるための取組 ・まずは興味を持ってもらうため、楽しんで参加できるような企画を用意する ・生涯学習施設と学校教育施設を集約した複合施設を作る ・学ぶための時間と資金、最低限の健康の確保 ・市民の興味関心に応じた講座や施設の周知 ・著名なゲストを呼んだ講演会 など

## 今まで大切にしてきたこと これからも大切にしたいこと

・職員の頑張りを発信する ・各課の事業を掛け合わせる（掛け算） ・指標にとらわれない ・方向性を持って前に進む ・生涯学習の重要性を主張していく ・色々なところにアンテナを向ける ・市民の声や現場職員と話をして、パソコンに向き合うだけの仕事をしない ・市民に対してフェアな対応、サービスを行う ・気にしすぎない ・「学び続けるものこそ、教え続けることができる」 ・「我以外皆師」 ・何事にも前向きに取り組み、色々な立場の人の気持ちに寄り添いたい ・趣味の時間を充実させる ・ナンバーワンよりオンリーワン ・一日一日を大切に生きる ・いまがあるのは先人たちの努力のおかげ ・次世代につなげていく ・仕事における正確性と効率性 ・家族 ・やりがい ・一度しかない人生であるから「人生を楽しむ」 ・地域ボランティアの方がやりがいを持ち取り組めるよう支援すること ・市民の願いを受け止め職務に専念すること ・新しいことへの取組 ・安易な継続ではなく少しでも変化し続けること ・人とのかわりや人間関係づくり ・市民に分かりやすい説明や言葉を使うこと ・一日一日を大切に ・一日を無事に過ごせたことへの感謝 ・行政の自己満足で終わらないように ・子どもが安心して生活ができる環境 ・ワークライフバランス ・市民が何を望んでいるかを考える ・130万人の市民が求めていることは何かを考えること ・何事もまじめにコツコツ積み上げていくこと ・人を大事にすること ・地域を元気にすること ・人とのつながり ・信頼関係 ・人とのつながり ・スピード感 ・自然環境を守る

・人と人とのつながり ・郷土の歴史や歴史資料の重要性を同僚や家族と共有する ・学ぶことの楽しさを知る機会を提供したい ・妥協 ・自分が楽しく そして 全ての人が楽しく ・人と人とのつながり、絆 ・感謝の気持ちをもって仕事にあたること ・色々なことに興味を広げること ・チームワーク ・自分の感性 ・努力と協調性とユーモア ・よりよい人間関係の構築 ・感謝の気持ち ・これまでの活動に関わった方々とのつながり ・限りある人生のバランス ・好奇心、知的探求心 ・Noと言えるようになること ・市民が何を望んでいるのか、市民の立場で考え実行すること ・一社会人として法を遵守すること ・プロ意識 ・コスト意識 ・コミュニティの活性化 ・市民全体の教育力向上に向けた環境づくり ・市民に真摯に向き合うこと ・健康 ・さいたま市の生涯学習に貢献したい ・利用者目線での仕事 ・公務員として市民の役に立つこと ・本の楽しさを伝える ・何かしら有益な情報や良質なサービスを提供すること ・ワークライフバランス ・市民が職員の手助けで何か一つでも情報を得て、満足して帰ってもらえるようにすること ・市民が「来てよかった」といってもらえるような仕事 ・利用者に真摯に向き合う ・子どもたちに読書の楽しさを伝えること ・本を読むと心が動く ・やりがい ・前向き働くことのできる職場環境づくり ・時間 ・変わらないために、変わっていくこと ・笑顔 ・誠実さ ・周りの人を大切にすること ・共感力 ・思いやる気持ち ・チャレンジ精神 ・人との出会い ・継続は力 ・人情 ・思いやり ・良き図書館人でありたい ・謙虚であり他者に対する尊敬の念を忘れない良き社会人でありたい ・市民から信頼される職員 ・着実に進めること ・身の丈にあった変化をすること ・利用者の求めるものは何かを第一に考える ・自分の仕事に責任を持つ ・進歩することをやめない ・チームワーク ・できることを毎日ひとつひとつ艇に積み上げること ・相手の立場を思いやること ・情報の習得と選択



・人とのつながり、絆 ・過去を学んで将来を考えること ・決断 ・「ありがとう」という感謝の言葉 ・思いついたら行動してみる ・市民ファーストのサービス向上 ・知る喜びの共有 ・知りたい要求に応えること ・子どもたちの輝く笑顔 ・まちづくりという意識の醸成 ・市民の要望に誠実かつ公平に応え、喜んでいただけること ・職場でのチームワーク ・専門的スキルの研鑽 ・問題の把握と改善しようとする意識 ・センスを磨いたり知識を深めたりすること ・弱者の側に立つこと ・目の前の相手が望むことを考え、できる限りその希望に近づける努力をすること ・目の前の一人の人のためにできることに力を注ぐこと など